

(別添資料1)

事業所名

f l u f f y

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

22 日

法人 (事業所) 理念	私たちは、社会人として世の中に貢献し、 私たち自身と、私たちが縁する全ての人たちのしあわせの実現を、めざします。				
支援方針	子供たちが自立し、自分自身の未来を輝かせるためのサポートを行います。 ・一人ひとりの学力や状況に応じた個別の「学習支援」。・基礎的な生活動作や、将来の自立に向けて必要な習慣の「習得支援」。 ・遊びや様々な活動を通して、ご家族以外との「人間関係構築支援」。・ご家族が安心できる、こころ休まる時間を提供。				
営業時間	9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本 人 支 援	健康・生活	・身の回りの整理整頓を自分で出来るようにしていく。(荷物の整理・着替え・玩具など共有物の片付け・など)			
	運動・感覚	・体をしっかり動かすことを様々な遊びの中で経験・獲得できるようにしていく。(散歩・公園での遊具遊び・サーキット・ボール遊び・鬼ごっこなどのごっこあそびなど) ・机上での微細運動や、姿勢を意識して行動できるようにしていく。(朝の会など・プリント活動・ボタン付け・ひも通し・積み木・ブロック・ラキュー・製作など)			
	認知・行動	・大人の話聞いて、集団で行動できるようにしていく。(ごっこあそび・ルールのある運動遊び・ルールのあるボードやカード遊び・朝の会など・製作・など) ・自分で考えて、見通しを持って行動できるようにしていく。(予定を聞いて、次を意識して自分で行動出来るように環境設定している。)			
	言語 コミュニケーション	・困ったときに、大人や友達に助けを求められるようにしていく。(大人がいるところへ、自分で行って、困っていることを言葉で伝えられるようにしている。) ・遊びの中で、大人や友達とのやりとりを楽しめるようにしていく。(ごっこ遊び・ルールのある遊び・普段のやりとりなど)			
	人間関係 社会性	・集団の中で、大人や友達と一緒に遊ぶことややりとりを楽しめるようにしていく。(ごっこ遊び・玩具の共有・ルールのある運動遊び・ルールのあるカード、ボード遊びなど) ・外出支援 (交通ルールを意識して出かけることや、遠足などで、電車の乗り方や道順を意識した行動の取り方を実践的に行っている。)			
家族支援	・事業所で行っている支援方法をご家庭でも実践できるように声掛けの方法や、関わり方などを送迎時、面談時に具体的にお伝えする。 ・普段の様子、変化のあった個所などを通所の都度、保護者様に共有する。	移行支援	・定期的に学校(幼稚園・保育園)と情報共有し、役割分担について等協議する。 ・必要に応じ、学校(幼稚園・保育園)を訪問し、児童との関わり方を共有する。		
地域支援・地域連携	・地域の園、学校、福祉と連携し、各家庭の情報を共有し、家庭支援を丁寧に行っている。 ・関係機関と定期的に連携会議を開催し、情報共有と役割分担について協議する。	職員の質の向上	・入社時の本部研修実施、その後現場にて本部職員によるフォローアップ研修実施。 ・毎月事業所でのMT ・1か月に1回以上の事業所内研修実施。		
主な行事等	季節の催し・土曜日、祝日、長期休暇中にイベント実施 (毎月の製作、避難訓練、サイエンスSTUDY.遠足、製作イベント、親子イベントなど)				